



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 西芝電機株式会社

コード番号 6591 URL <http://www.nishishiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 紀一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理担当

(氏名) 佐藤 友哉

TEL 079-271-2372

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,290	△9.6	228	—	215	—	117	—
25年3月期第2四半期	10,278	8.5	△54	—	△52	—	△76	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 130百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △90百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.02	—
25年3月期第2四半期	△1.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,081	11,350	47.1
25年3月期	25,172	11,220	44.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 11,350百万円 25年3月期 11,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△6.0	700	74.6	660	54.1	390	98.4	9.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	39,095,000 株	25年3月期	39,095,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	51,520 株	25年3月期	50,996 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	39,043,842 株	25年3月期2Q	39,045,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年7月31日に公表しました業績予想及び配当予想は、本資料において修正しております。詳細につきましては、本日(平成25年10月31日)公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正(復配)に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策への期待感から円高の是正や株価の上昇が進行するなど、景況感に明るい兆しが見え始めてきましたが、世界においては、新興国経済の景気減速懸念、債務問題による欧州の景気下振れ懸念が依然として続くなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、新造船の需要停滞に伴う前期までの船舶用電機システムの受注の減少や販売価格下落が影響し、売上高は9,290百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

損益につきましては、船価の下落による販売価格の低下、競合他社との価格競争の激化など厳しい経営環境が続くなか、総力を結集して原価低減活動や生産性向上などの損益改善に取り組みました結果、円高是正も寄与し、営業利益は228百万円（前年同四半期は営業損失54百万円）、経常利益は215百万円（前年同四半期は経常損失52百万円）、四半期純利益は117百万円（前年同四半期は四半期純損失76百万円）といずれも前年同四半期を上回りました。

当社グループは単一セグメントであるため、主要製品別に業績を示すと次のとおりであります。

船舶用電機システムにつきましては、軸発電装置及びサブマージド（極低温液中）モータが好調だったものの、前期までの受注の減少が影響し、売上高は4,158百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

発電・産業システムにつきましては、国内向け非常用発電装置が増加したものの、海外向け常用発電装置が減少したことにより、売上高は5,132百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1,091百万円減少し、24,081百万円となりました。

流動資産の残高は833百万円減少し、12,484百万円となりました。主な増加要因は仕掛品の増加177百万円等であります。一方、主な減少要因は現金及び現金同等物（現金及び預金及びグループ預け金、以下「資金」という。）の減少456百万円、受取手形及び売掛金の減少555百万円等であります。

固定資産の残高は、257百万円減少し、11,597百万円となりました。これは主に有形固定資産が235百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ1,221百万円減少し、12,731百万円となりました。

流動負債の残高は1,161百万円減少し、5,441百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,056百万円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末から59百万円減少し、7,290百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、11,350百万円となりました。これは主に、四半期純利益117百万円を反映したものであります。

以上より、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.6%から47.1%へと2.5%上昇しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ456百万円減少し、2,276百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は521百万円（前年同四半期は879百万円の獲得）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益197百万円、売上債権の減少額558百万円等であります。一方、減少要因は仕入債務の減少額1,064百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は60百万円（前年同四半期は117百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出68百万円及び有形固定資産の売却による収入140百万円を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は0百万円（前年同四半期は1,200百万円の使用）となりました。当第2四半期連結累計期間中において、重要な資金の調達及び返済はありませんでした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、発電・産業システムにつきまして下期売上予定分の受注高が予想を下回る見込みとなったため、前回予想値を下回る見通しです。

損益につきましては、販売価格の低下、競合他社との価格競争の激化など厳しい経営環境が続くなか、総力を結集して原価低減活動や生産性向上などの損益改善に取り組みましたことから、前回予想値を上回る見通しです。

また、平成26年3月期の期末配当につきましては、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しく、先行きが不透明な状況であるため未定とさせていただいておりましたが、通期の営業利益、経常利益及び当期純利益が当初予想を上回る見通しとなりましたので、今後の業績等を総合的に勘案しました結果、期末配当予想を1株当たり3円に修正し、4期ぶりに復配する予定とさせていただきました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月31日）公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正（復配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（平成10年4月1日以降に取得した建物を除く）の減価償却方法については定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産の減価償却の方法について定額法に変更しました。

当社グループをとりまく事業環境として発電・産業システムについては、従来は常用分散電源市場の需要が燃料価格などの影響を受けることから生産高に大きな変動が見られましたが、東日本大震災後の電力需給逼迫等により再生可能エネルギー、分散型電源に対する需要の高まりを受け景気動向に左右されることが少ない長期的かつ安定的な需要増加が見込まれております。これらのことから、当社グループは、当期を初年度とする「2013年中期経営計画」における生産方針をより長期・安定的な収益が見込める発電・産業システムを中心としたものに変更しております。船舶用電機システムについては、最近、新造船建造量が減少するなかアジア諸国との競争が激化し供給過剰の状態が継続しており市場の急回復は見込めない状況であることから、相対的に優位性のある高付加価値品にシフトするとともに設備の維持更新の方針のもと安定稼働を図ります。

これら方針の変更を契機に減価償却方法について検討した結果、今後生産設備の稼働状況がより安定的になると見込まれることから、使用期間にわたり費用を均等配分する方法を採用することがより期間損益の適正化が図られると判断いたしました。

これにより、従来の方針と比べ減価償却費は46百万円減少しています。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	392,792	257,178
グループ預け金	2,340,348	2,019,315
受取手形及び売掛金	7,616,113	7,060,644
商品及び製品	941,069	892,589
仕掛品	1,375,755	1,553,014
原材料及び貯蔵品	157,340	175,772
その他	512,161	541,487
貸倒引当金	△17,115	△15,431
流動資産合計	13,318,465	12,484,572
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,402,551	8,248,432
その他(純額)	1,909,221	1,827,671
有形固定資産合計	10,311,773	10,076,104
無形固定資産		
	29,148	29,455
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,513,638	1,491,845
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	1,513,523	1,491,730
固定資産合計	11,854,444	11,597,290
資産合計	25,172,909	24,081,862
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,305,192	4,248,771
未払法人税等	109,120	25,815
引当金	27,062	52,700
その他	1,161,632	1,113,842
流動負債合計	6,603,008	5,441,129
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
再評価に係る繰延税金負債	2,860,511	2,860,303
退職給付引当金	3,398,939	3,337,639
その他の引当金	72,933	74,932
資産除去債務	17,441	17,627
固定負債合計	7,349,826	7,290,503
負債合計	13,952,835	12,731,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,232,562	2,232,562
資本剰余金	500,062	500,062
利益剰余金	3,315,598	3,433,946
自己株式	△9,012	△9,080
株主資本合計	6,039,210	6,157,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,121	42,807
土地再評価差額金	5,174,633	5,174,256
為替換算調整勘定	△30,891	△24,326
その他の包括利益累計額合計	5,180,863	5,192,737
純資産合計	11,220,074	11,350,229
負債純資産合計	25,172,909	24,081,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,278,303	9,290,710
売上原価	8,580,168	7,428,044
売上総利益	1,698,134	1,862,666
販売費及び一般管理費	1,752,186	1,633,704
営業利益又は営業損失(△)	△54,052	228,961
営業外収益		
受取利息	995	1,015
受取配当金	3,055	3,702
不動産賃貸料	18,280	16,248
その他	9,189	5,790
営業外収益合計	31,520	26,757
営業外費用		
支払利息	13,475	5,950
固定資産除却損	1,124	24,980
為替差損	13,950	7,395
その他	1,674	1,874
営業外費用合計	30,224	40,201
経常利益又は経常損失(△)	△52,756	215,517
特別損失		
減損損失	46,105	—
土地売却損	—	17,733
特別損失合計	46,105	17,733
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,861	197,784
法人税、住民税及び事業税	10,151	12,958
法人税等調整額	△32,489	66,855
法人税等合計	△22,338	79,813
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△76,523	117,970
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,523	117,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△76,523	117,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,148	5,686
為替換算調整勘定	6,438	6,564
その他の包括利益合計	△13,709	12,251
四半期包括利益	△90,233	130,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,233	130,221
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△98,861	197,784
減価償却費	240,740	139,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,499	△1,684
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△39,383	△61,407
その他の引当金の増減額(△は減少)	△40,639	27,636
受取利息及び受取配当金	△4,050	△4,718
支払利息	13,475	5,950
有形固定資産除却損	1,124	24,980
有形固定資産売却損益(△は益)	—	17,267
減損損失	46,105	—
売上債権の増減額(△は増加)	924,402	558,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	321,715	△143,118
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,916	△83,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△464,716	△1,064,421
その他の流動負債の増減額(△は減少)	90,360	△56,736
その他	11,336	2,871
小計	992,025	△441,556
利息及び配当金の受取額	4,050	4,718
利息の支払額	△14,301	△6,013
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△102,190	△78,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	879,584	△521,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,440	△68,109
有形固定資産の売却による収入	—	140,762
無形固定資産の取得による支出	△487	△7,007
投資有価証券の取得による支出	△1,025	△1,094
その他の支出	△5,258	△4,485
その他の収入	2,067	615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,144	60,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,200,000	—
配当金の支払額	△638	△651
その他	△166	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,200,804	△718
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,388	5,181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△446,752	△456,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,063,268	2,733,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,616,515	2,276,494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。